

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



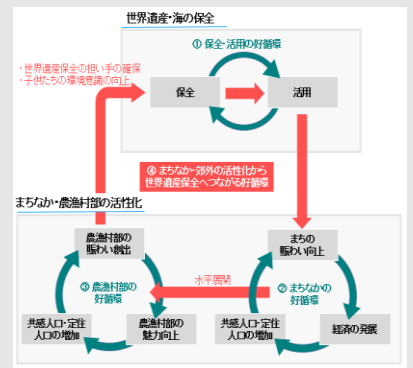
自治体の概要

- ・人口 約97,000人
- ・総面積 119.92km²
- ・世界遺産、コミュニティ等の豊かな地域資源
- ・西日本屈指の大型団地



今後のビジョン・計画

世界遺産を起点とした自律的好循環モデルにより、持続可能な地域循環共生社会を形成する



SDGsに関する特徴的な取組

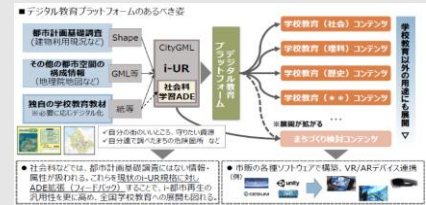
①「宗像国際環境100人会議」を通じた情報発信

・産学官民が連携して、地球環境問題の解決に向けて議論を重ねるシンポジウム「宗像国際環境100人会議」と、次世代を担うグローバル人材を育成する「宗像国際育成プログラム」を実施



②「i-都市再生」を活用したまちづくりの推進

・子どもたちや地域づくりの担い手が、経済、社会、歴史、文化などの要素を様々なデータから読み解き、まちの課題や魅力を発見してまちへの理解や関心を深めることができるデジタルコンテンツを構築し、地域学習や学校教育において活用することで、まちづくりへの参画意欲やふるさとへの誇り・愛着を醸成し、将来の担い手を育成するとともに、教育現場の事務効率化などの課題解決を図る



③官民連携による創業支援

・行政、商工会、市内金融機関等で「“宗業”者応援ネットワーク」を組織し、創業希望者等への「切れ目のない」支援パッケージを構築する

・創業拠点「fabbit宗像」の活用により、希望者の心理的ハードルを無くし、女性や学生など潜在的創業者の掘り起こしや支援の拡充につなげる

